

■施策評価シート

施策番号	3-01-①
施策名	教育内容の充実

施策の概要	
児童生徒の学力の実態や学習状況、学校を取り巻く環境等をふまえ、質の高い授業づくり、創造的で特色ある教育活動づくり、思考力の育成を図る取組、学習習慣の定着を図る取組等により、児童生徒の確かな学力向上をめざします。	

成果指標(単位)	学校評価「学校が楽しい(%)」と「授業がよくわかる(%)」の平均(%)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		90.0%	90.0%	90.0%
実績値	90.7%	89.1%	90.4%	

成果指標実績に対するコメント
学校が楽しい91.6%、授業がよくわかる89.1%の平均として90.4%となった。昨年の学校が楽しい90.8%、授業がよくわかる87.4%と同様に、授業がよくわかると回答している比率が若干低くなる傾向がある。

施策の達成度評価
「やってみてわかる」といった体験的な学習や「友だちと相談して学ぶ」協働的な学習指導などに取り組んだり、子ども一人ひとりに丁寧に関わったりして、事業の特質を生かした取組をさらに充実させていきたい。

評価に基づいた平成29年度取組みについての考え方
ICT教育、英語教育等の学力向上に関わる取り組みが、社会からの要請としてこれまで以上に課題となってくる。少人数学級編制指導教員配置事業をはじめとする各種支援員、加配教員配置事業を中心に、一人ひとりの子どもに寄り添いながらの学習指導や体験的な活動を実施することにより、成果指標が90%以上になることを目指す。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項
学級編制にかかわる県基準が、平成27年度から小学校、中学校のすべての学年において35人学級編制にできるようになった(1学級20名以上の場合に限る)。市内小学校はもちろん、中学校においても、タブレット型パソコンが導入され、ICTにかかる教育環境の整備がすすんだ。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
小学校少人数学級編制事業	学校教育課	○	1学級35人以内を基準とする少人数の学級編制ができ、きめこまかな指導、一人ひとりを大切にされた指導ができています。
子ども読書活動推進事業	学校政策推進課	○	人的措置等により学校図書館が、図書の貸出し業務を主とする読書センターとして機能している。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育委員会運営事業	教育総務課
教育委員会事務局運営事業	教育総務課
中学校体育推進事業	スポーツ保健課
小学校体育推進事業	スポーツ保健課
子ども読書活動推進事業	図書館
子ども読書活動推進事業	生涯学習課
青少年美術展覧会開催事業	学校政策推進課
科学発表展覧会開催事業	学校教育課
教育研究推進事業	学校教育課
児童会・生徒会活動推進事業	学校教育課
体験実践活動推進事業	学校政策推進課
学校運営支援事業	学校教育課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

学校運営支援事業	学校政策推進課
学力向上重点事業	学校政策推進課
学びの教室開催事業	学校教育課
学校改革推進事業	学校政策推進課
教科担任制加配教員配置事業	学校教育課
大規模中学校加配教員配置事業	学校教育課
学校ICT推進事業	学校政策推進課
自主活動学級開設事業	学校教育課
同和教育指導推進事務	学校教育課
人権教育推進事業	学校教育課
中学校文化部活動推進事業	学校教育課
学事管理事務	学校教育課
地域交流拠点施設整備費補助事業	学校教育課

■施策評価シート

施策番号	3-01-②
施策名	教職員の資質向上

<p>施策の概要</p> <p>教育委員会による指導・支援およびスキルアップアドバイザーの派遣や教育研究所の講座、研究奨励等のほか、各学校における校内研修等を充実し、教職員相互の学び合いにより指導力の向上を図ります。</p>

成果指標(単位)	研修満足度(受講者による満足度4段階評価、上位2段階の割合)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		96%	96%	96%
実績値	96%	96%	95%	

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>研修満足度の実績値は95%を超えている。学校教育に対する社会からの要請、複雑化する子どもをとりまく教育環境といったものについての対処等、研修課題は常に新たに設定される。教育を取り巻く学校課題について適切に向かい合い、研修課題を設定することが求められる。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>成果指標から教職員の力量を高めるために、一定以上の効果は上がっていると考えられる。さらに、より多くの受講者を募り、また期待に沿う内容を設定することが求められる。</p>

<p>評価に基づいた平成29年度取組みについての考え方</p> <p>道徳教育・ICT教育、英語教育(小学校においては外国語活動)等、現代社会の要請に常に応えるべく、教員の指導力向上、学校教育体制、地域の教育力向上を図るための各種研修を実施していく。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>文科省「道徳教育の抜本的改善充実に係る支援事業」(研究推進校:草津第二小・草津中・草津市) 文科省「ICTを活用した教育推進自治体応援事業」(実証協力校:志津小・草津小・山田小・松原中・新堂中) 総務省「クラウド等の最先端情報通信技術を活用した学習・教育システムに関する実証事業」(実証協力校:志津小・草津小・老上中)</p>

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
スキルアップアドバイザー 配置事業	学校教育課 (教育研究所)	○	若手を中心とした限られた教員が中心ではあるが、実践に基づいた研修ができています。
教職員研修事業	学校教育課 (教育研究所)	○	勤務時間外の研修でも自主的に参加し、演習を中心とする研修受講により、実践力を高めることができました。
講座開設事業	学校教育課 (教育研究所)	○	主催事業への出張や、県総合教育センターの研修講座等と開催日が重なってしまうことがあるが、研究所の講座参加者の満足度は高い。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育調査研究事業	学校政策推進課
教育研究所運営事務	学校教育課
校務情報化推進費	学校政策推進課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事

■施策評価シート

施策番号	3-02-①
施策名	学校施設・設備の充実

<p>施策の概要</p> <p>老朽化が進む小中学校の施設・設備の計画的な改修・更新を図るとともに、非構造部材の耐震対策を含めた点検・修繕等の維持管理に努めます。また、必要に応じて施設の新・増築等を進めます。</p>

成果指標(単位)	小中学校の大規模改修計画の進捗率(%)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		61	85	100
実績値	29	52	75	

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>交付金の採択時期が遅かったことから、27年度に実施を予定していた事業を28年度に繰り越したことにより、進捗率が目標値に届かなかった。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>交付金の採択時期が遅延する中で、工事の実施可否について検討し、施工可能な学校については工事を実施した。また、開校に間に合うよう予定どおりに新設小学校を建設することができた。</p>

<p>評価に基づいた平成29年度取組みについての考え方</p> <p>老朽化した校舎については計画的に改修工事を実施していくとともに、校舎棟の非構造部材についても順次改修を行う。また、生徒数が増加し教室不足が想定される学校について、増築する準備を進めていく。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>学校施設環境改善交付金を取り入れて改修を実施しているが、平成27年度以降、国の財政状況により採択が大変厳しくなった。</p>

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
小学校大規模改造事業	教育総務課	△	国の交付金の採択時期が遅れたことから予定していた一部の学校施設の改修を翌年度に繰り越したため、当初の目標を達成することができなかった。
中学校大規模改造事業	教育総務課	△	国の交付金の採択時期が遅れたことから予定していた一部の学校施設の改修を翌年度に繰り越したため、当初の目標を達成することができなかった。
小学校校舎等整備事業(老上小学校の分離・新設)	教育総務課	○	新設の老上西小学校の建設を予定どおり完了し、児童の教育環境の適正化を図ることができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小学校管理運営事業	教育総務課
小学校施設維持管理事業	教育総務課
小学校教育教材整備事業	教育総務課
小学校校舎等整備事業	教育総務課
中学校管理運営事業	教育総務課
中学校施設維持管理事業	教育総務課
中学校教育教材整備事業	教育総務課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート

施策番号	3-03-①
施策名	生徒指導・教育相談体制の整備

<p>施策の概要</p> <p>中学校区の小中学校間における生徒指導の連携をいっそう進めるとともに、子ども一人ひとりの思いや願いに寄り添った教育相談を行います。</p>

成果指標(単位)	学校評価「問題行動等の解決に対し組織的に取り組んでいる」(5段階評価)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	4.0	4.0	4.0
実績値	3.8	3.8	3.9	

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>学校における生徒指導、教育相談に関わる事案については、すべての学校が組織的に対応している。その内実としては、外部関係機関から学校への人的支援、専門的見地からの助言、協力等により、短期的に解決していることが多いが、継続的、長期的な取組を必要とする場合もあり、見守りや配慮を継続している事案がある。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>子どもを取り巻く環境すべてを見て支援を行う組織的な取組対応のあり方が教職員に理解され、関係機関や専門家からの指導・助言、協力・支援等を組織として活かした効果的な対応をすることで、問題の早期解決が可能になってきた。見守りや配慮を継続する場合についても常に組織としての対応、および関係機関との連携を図ることが求められる。</p>

<p>評価に基づいた平成29年度取組みについての考え方</p> <p>生徒指導事案、教育相談事案について、関係機関や専門家からの指導や助言、協力、支援等のさまざまな手法を学校の実態に応じて活用するとともに、学校が組織として適切な対応をしていく。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>いじめ防止対策推進法の施行や草津市いじめ防止基本方針の策定により、教職員のいじめに対する意識の向上が図られた。</p>

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
学校問題サポートチーム運営事業	学校教育課 (教育研究所)	○	早期に対応策を講じ、対処することができ、事態を収束の方向に導いた。
中学校生徒指導主事活動推進事業	学校教育課	○	問題行動等に関わる関係機関、学校間の連携がスムーズに図れた。
学校教育支援教員配置事業	学校教育課	○	不登校等に関わる学校間連携や、児童生徒への相談体制の充実が図れた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
生徒指導推進事務	学校教育課
学校支援対策推進事業	学校教育課
外国人児童生徒教育支援事業	学校教育課
学校連携推進事業	学校教育課
社会同和教育推進事務	学校教育課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	3-03-②
施策名	安全で安心な教育環境の確保

<p>施策の概要</p> <p>学校生活における児童・生徒の様々な活動が、安全で安心な環境のもとで展開されるよう、地域住民の御協力のもと、健やかな学校生活づくりを支援します。</p>

成果指標(単位)	「学校が楽しい」と感じている児童生徒の割合(%)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		91.0	92.0	92.0
実績値	91.8	90.8	91.6	

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>児童生徒への意識調査の結果、「学校が楽しい」と答えた児童生徒の割合は、過去3年間の推移を見ると1%前後で増減しつつも、90%台を維持している。さらなる成果向上を目指す必要があるが、各事業の成果を児童・生徒も実感できているものとする。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>通学路対策事業をはじめ、学校保健の推進や就学援助など、学校生活が安心して送れるための各種施策を行ったことで、安全で安心な教育環境の確保に資することができた。</p>

<p>評価に基づいた平成29年度取組みについての考え方</p> <p>児童・生徒の安全・安心な環境整備には、通学路交通安全対策実施プログラムに基づく安全対策の実施や、スクールガードなど地域住民との連携強化が必要である。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>平成28年4月の老上西小学校の開校にあたり、安全で安心な環境づくりに向けて関係所属が連携して取り組んだ。</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
通学路対策事業	スポーツ保健課	○	関係機関とともに通学路合同点検を実施し、子どもたちの安全対策に取り組んだ。
給食センター管理運営事業	スポーツ保健課	○	安全・安心かつ栄養のバランスのとれた学校給食の提供に取り組んだ。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
校医等配置事業	スポーツ保健課
児童・生徒等健康診断事業	スポーツ保健課
就学時健康診断事業	スポーツ保健課
学校環境衛生管理事業	スポーツ保健課
学校保健推進事務事業	スポーツ保健課
学校保健推進養護教諭配置事業	スポーツ保健課
日本スポーツ振興センター負担金事務	スポーツ保健課
地域ぐるみの学校安全推進事業	スポーツ保健課
児童・生徒安全対策事業	スポーツ保健課
学校災害賠償補償保険事務	スポーツ保健課
学校給食材料購入事業	スポーツ保健課
児童通学支援事業	学校教育課
修学援助資金給付事業	学校教育課
児童就学援助費支給事務	学校教育課
生徒就学援助費支給事務	学校教育課
通学区域管理事務	学校教育課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート

施策番号	3-03-③
施策名	特別支援教育の充実

施策の概要	
教育委員会と学校が連携し、特別な支援を要する児童生徒のよりよい教育をめざすとともに、各学校の特別支援教育の推進体制の充実やすこやかサポート支援員の配置および有効活用を進めます。	

成果指標(単位)	「学校が楽しい」と感じている児童生徒の割合(%)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		92%	93%	94%
実績値	91.8%	90.8%	91.6%	

成果指標実績に対するコメント
児童生徒への意識調査の結果、「学校が楽しい」と答えた児童生徒の割合は、過去3年間の推移を見ると1%前後で増減しつつも、90%台を維持している。担任や支援員が、特別支援教育の視点から個別の支援を計画的に行うことにより、児童生徒がスムーズに学習に取り組むことができるようになっている。

施策の達成度評価
小中学校において、学校すこやかサポート支援員が支援を要する児童生徒に対して、一人ひとりの課題を克服する支援ができています。 言語障害や発達障害のある児童生徒に対して、「ことばの教室」「通級指導教室」の指導員がきめ細かな指導を行っている。

評価に基づいた平成29年度取組みについての考え方
専門家や通級指導教室、ことばの教室指導員による特別支援教育に係る巡回訪問を行い、教職員の資質向上を図る。 支援を要する児童生徒の増加かつ多様化に対応していくために、すこやかサポート支援員を確保しながら、研修を継続し、支援員一人ひとりの資質向上を図る。 数年先を見据え、増加する保護者等のニーズに対応していくための施設の整備等に向けての検討を継続していく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項
各小中学校における個別指導計画の作成。 専門家による小中学校への巡回相談。 特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担任、学校すこやかサポート支援員に対する研修会の実施。 学校すこやかサポート支援員72名(市内小中学校合計)の配置。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
特別支援教育推進事業	学校教育課	○	担任等が支援の必要な児童生徒に対する支援方法を学び、実践に生かすことができた。
学校すこやかサポート支援員配置事業	学校教育課	○	支援の必要な児童生徒が安心して学校生活を送れるようになった。
やまびこ教育相談室運営事業	学校教育課 (教育研究所)	○	不登校傾向の生徒に改善が見られた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
障害児就学指導委員会運営事業	学校教育課
小学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
中学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート

施策番号	3-04-①
施策名	青少年教育の充実と社会参加の促進

<p>施策の概要</p> <p>多様化する青少年の問題に対応する青少年への教育や啓発の充実を図るとともに、少年センター等との連携により、問題解決のための取り組みを地域ぐるみで展開します。</p>

成果指標(単位)	青少年にかかる相談件数(件)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	700	700	700	700
実績値	840	704	984	

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>相談・補導活動等の事業により青少年の健全育成に一定の成果は得られている。相談件数は26年度にやや減少したものの、学校をはじめとした関係機関との連携が密に図れたことにより、27年度は大幅に増加した。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>県、警察等の関係機関、補導委員会等関係団体との連携・協力により相談活動、補導活動、少年への支援活動などに取り組めた。あずくる通所の青少年が増え相談件数も増加していることから、引続き青少年の健全育成・非行防止に取り組んでいく。</p>

<p>評価に基づいた平成29年度取組みについての考え方</p> <p>相談業務において、相談内容が多岐にわたり、保護者からの相談も増加している。関係機関、団体等との連携を更に強化して取り組む。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>警察および学校関係者との連携による補導啓発活動の積極的な取り組みにより、補導、犯罪少年が減少傾向にある。</p>

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
少年センター管理運営事業	生涯学習課	○	カウンセラーへの相談が増加した。また、街頭補導活動を計画的に実施できた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	3-04-②
施策名	青少年の健全育成に向けた活動への支援

<p>施策の概要</p> <p>青少年の健全育成を図るため、地域主体による少年団体活動や青少年育成活動、青年国際交流等の支援・促進を図ります。</p>

成果指標(単位)	青少年健全育成事業への参加者数(人)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		800	800	800
実績値	762	920	862	

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>青少年育成市民会議が開催している主張発表大会や育成大会、みんなでトーク、市青少年健全育成団体指導者研修会などの事業を実施し、前年度から若干の減少はあったが、青少年の健やかな成長を願う多くの参加者があり、結果として目標値を上回った。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>青少年育成市民会議の支援を通じて、青少年の健全育成を目的とした諸事業を実施した。その結果、青少年の健全育成について市民の方への啓発や意識を高めることができた。</p>

<p>評価に基づいた平成29年度取組みについての考え方</p> <p>青少年の健全育成を図るために、青少年育成活動団体への支援や青年国際交流事業等の事業の活性化を行う。また、多様化する青少年の問題に対応するため、各関係機関と連携を密にする必要がある。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
青少年育成活動事業	生涯学習課	○	主張発表大会等の各種事業を実施することにより、青少年の健全育成に寄与することができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
青少年教育推進事業	生涯学習課
成人式開催事業	生涯学習課
青年国際交流事業	生涯学習課
青少年対策推進事業	生涯学習課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。